

## 学生野球資格回復研修特例で殿堂入り5氏が来館

前号でもご紹介した通り、当博物館は1959（昭和34）年に開館し、今年60周年を迎えました。開館記念日である6月12日（水）に入館料を一律60円としたところ、平日にもかかわらず500人を超えるお客様にご来館いただくことができました。

また、開館60周年記念展「野球殿堂ってなあに？」を3月15日（金）～6月23日（日）まで開催、野球殿堂のしくみをわかりやすく紹介しました。出身地、出身校、球団別リストなど、これまでとは異なる切り口での紹介も試み、実物資料につ

いては「背番号3」、「本塁打王」、「サブマリン」、「名監督」等テーマごとの展示を行い、ご好評をいただきました。

今回ご紹介するのは、6月5日（水）の学生野球資格回復研修特例に先立ち、殿堂入り5氏が来館した際に本展会場で撮影した写真です。杉下 茂氏（85年殿堂入り、以下同）、野村克也氏（89年）、福本 豊氏（2002年）、門田博光氏（06年）、堀内恒夫氏（08年）の5氏に、それぞれゆかりの資料の前で写真を撮影させていただきました。



杉下氏 1951年春に参加した米国3A、シールズのキャンプで着用したユニホームの前で。



福本氏と門田氏 本塁打王、安打製造機をテーマとした展示で、ご自身のバットを見ながら語りあう両氏。



野村氏と門田氏 NPB通算本塁打2位、3位の両氏が南海時代のご自身のユニホームの前で。



堀内氏 殿堂入りに際しご寄贈いただいた現役時代のグラブの前で。

公益財団法人 野球殿堂博物館  
学芸員 関口貴広